

令和6年度事業計画書

公益財団法人 水戸育英会

1、基本方針

水戸育英会は、首都圏の大学に通学する主として茨城県出身学生に対し、育英奨学事業を行うために学生寮の設置・運営を行って、学生の経済的負担を軽減して、その修学を容易にすると共に、学生の指導援護の事業を行い、社会に貢献し得る有為の人材を養成することを目的としている。

寮舎は築後50年以上を経過し老朽化が進んだため、現地建替を決定し、その後工事は順調に運び、令和5年2月末日竣工・引渡を受けた。よって、本年度予算は完成した新寮2年目の運営を前提として策定したものである。

2、新学生寮の設置・運営事業

1) 新学生寮は、予定どおり令和5年2月末日竣工・引渡を受けた。よって、令和6年度は新寮2年目の運営を行うこととなる。

2) 新学生寮の概要

① 場所 東京都世田谷区上用賀4丁目1番24号（従前と同じ住居表示）

② 敷地 1715.31m²（登記上）（519坪）

③ 建物 種類 寄宿舎 構造 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建

床面積 1階553.21m² 2階497.53m² 3階276.39m²

付属建物の表示 ゴミ置場4.71m² 物置3.20m²（以上登記上）

④ 定員 48名（従前どおり） 全員個室

⑤ 施設 食堂兼集会室、浴室、図書室兼勉強室、書庫、談話室、エアコン、インターネット配線等

3) 塾生の一ヶ月負担額

新寮費は一ヶ月6万5000円とする。これを従前の例に従って、一般会計35,000円その余を自治会費等（食費、光熱用水費等）に振分け予算制によって実施運営する。

4) 塾生への食事提供

塾生には朝、夕二食を提供するが、当法人は専門食事提供会社との間で業務委託契約をする方法をとる。令和6年度は前年度に引き続き有限会社フードスタッフサービスに業務委託を決定している。

5) 塾生の指導・援護

塾生の東京での修学を援護するために、育英会の役員（理事長、学監、副学

監など)が、毎週1回塾生の自治委員と面談するほか、原則毎月一回開催される塾生の自治会である塾生会に出席して、塾生に対し適切な指導・援護を行う。

6) 塾生の行事

塾生の自主計画を指導し、テニス大会、ソフトボール大会、旅行会、塾祭等を開催して、塾生の親睦を図るとともに協調の精神を涵養したい。

7) 水戸育英会会報「塾友」の発行

毎年水戸育英会の会報「塾友」を発行し、寮生及び父兄、塾友(寮出身OB)に送付しているが、本年度も2025年2月を目途に発行する。

8) 塾友会関係

塾友会の常任幹事会、総会その他の行事(講演会を含む)については、寮生と塾友の懇親を深めるために今年度も引き続きその事業を支援する。

9) 見学会の実施

塾生の精神啓発と塾友との親睦を目的として、塾友会との共催による見学会を秋頃に計画することとしたい。

3、入寮生の募集と選考

令和7年度の塾生募集を令和6年11月から令和7年3月にかけて実行する。選考に当たっては、寮新築工事の関係で生じた各学年間のアンバランスを調整するため適切な配慮を検討するものとする。

募集方法は募集要項をホームページに掲載するほか、茨城県下の主な高校へも送付する。更に茨城新聞、読売新聞(茨城版)に募集広告を行うほか適宜県内自治体の広報への広告も行いたい。募集人員は4年生の卒業等による定員(48名)に満たない空き部屋数を基本とする。当年度は令和7年4月入学の新1年生を対象に10数名の募集を見込んでいる。選考は、原則として茨城県下高校出身者の申込を受け、申し込みに際しては出身学校の調査書、当法人所定の身上調書を提出させる。理事長の入寮決定前に、理事長から委託された理事等による選考委員会が面接を行う。なお、この面接には塾長以下4名の塾生代表を参加させ、委員会に推薦させる方法をとっている。

4、資金調達及び設備投資の見込み

別添資料のとおり

事業 年度	自	令和6年4月1日	法人コード	A006035
	至	令和7年3月31日	法人名	公益財団法人水戸育英会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	
			円	